





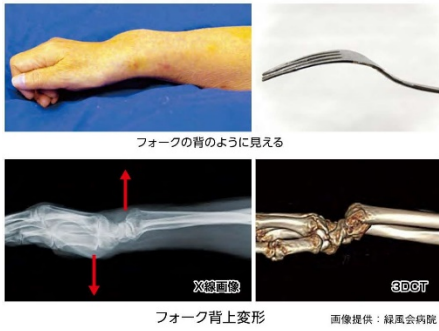
正誤表

『ここがポイント！整形外科疾患の理学療法』第3版第1刷（2023年1月10日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2023年5月26日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
86	図36 ○△の位置	 <p>図36 骨盤装具の装着 本来体側から腸骨稜を牽引するようにするものであるが、やや後方に設置し仙骨から骨盤後傾させるように設置する方がよい。</p>	 <p>図36 骨盤装具の装着 本来体側から腸骨稜を牽引するようにするものであるが、やや後方に設置し仙骨から骨盤後傾させるようにする方がよい。</p>
86	図36 図説	…やや後方に設置し仙骨から骨盤後傾させるように設置する方がよい。	…やや後方に設置し仙骨から骨盤後傾させるようにする方がよい。
193	図11 赤矢印(←)の位置	 <p style="text-align: center;">骨折部遠位の橈側偏位</p>	 <p style="text-align: center;">骨折部遠位の橈側偏位</p>
193	図11 フォーク背上変形の画像	 <p style="text-align: center;">フォーク背上変形 画像提供：緑風会病院</p>	 <p style="text-align: center;">フォーク背上変形 画像提供：緑風会病院</p>
355	図6 バビンスキー反射 図説	…床面に測定が設置したとき、～	…床面に足底が接地したとき、～

以上